

# 精華町男女共同参画通信



「男子キッチンに入るべし！」講習会



男性も簡単な食事くらいはつくれるよう、日頃から調理を経験しておくことが大切であります。

また、最近は「妻を介護する夫」が増えていますが、家事や介護に不慣れな男性が担うと、食事が偏り栄養不足になつて夫婦とも入院するといふケースもあります。

先日、男性を対象とした料理講座を開催しました。参加者は30歳代から70歳代の16名で、包丁を持つのは初めてという人が2名おられた一方、ビックリするほど手際のよい参加者もおられました。食生活改善推進員協議会会員の指導で実習した後、「自分の作った物は格別おいしい」と笑顔で試食をし、好評のうちに終了しました。

参加理由は、仲間づくりや料理への興味、料理をつくる機会を増やすためなど、さまざまですが、「妻に勧められた」妻の体調が悪く少しでも手伝えるように」という理由もありました。

食べることは一生涯必要なことですが、いつも誰かが用意してくれるとは限りません。核家族が高齢化した老人世帯では、妻一人で家事を全てをすることは難しくなります。

また、最近は「妻を介護する夫」が増えていますが、家事や介護に不慣れな男性が担うと、食事が偏り栄養不足になつて夫婦とも入院するといふケースもあります。

「おいしい」という言葉です。週に何回かでも食事の仕度を分担できると、高齢になっても暮らしやすいでしょう。料理の効用はそれだけではありません。料理は包丁の使い方や段取りの仕方など覚えることが多いので、頭の体操になります。脳の活性化のため一日1回でも料理をすると、月くらいだと明らかな効果を感じた、との記事もあります。

何より、「妻や娘と料理の話題がきつかけで会話を増えた」「知人を招いて手料理を披露するのが楽しみ」など、家族とのコミュニケーションの手段にもなっています。

料理はますます上達し楽しくなります。男性も料理をすることで夫婦や家族の会話が増えれば、それも男女共同参画社会への入り口ではないか、と思う今日この頃です。

## 男子厨房に入るべし！



■発行  
2007.03  
精華町民生部人権啓発課  
〒619-0285  
京都府相楽郡精華町大字南稻八妻小字北尻70番地  
電話 0774-95-1919  
FAX 0774-95-3974

精華町立図書館で所蔵する資料から、男女共同参画に関する図書をご紹介します。



## 『はなのすきなうし』

マンロー・リーフ：おはなし  
ロバート・ローソン：え



岩波書店

スペインの農場で暮らす子牛の「ふえるじなんど」は、ひとりで花のにおいをかいしているのが大好き。大きくなつたある日、猛牛と誤解され、闘牛場に連れて行かれますが…。自分らしくあることに気づかせてくれる絵本です。

## 『世界中のひまわり姫へ』

小笠原みどり・永田萌



ポプラ社

「女性差別撤廃条約」をメルヘン風のおはなしに訳し、絵本仕立てで分かりやすく解説しています。「男の子も女の子も性別に関係なく自分らしく生きていけますように」との願いが込められています。

## 『「男だてら」に「女泣き」』

奥山和弘



文芸社

「女だてら」に「男泣き」はあっても、「男だてら」に「女泣き」はなぜないのか、など具体例をあげながら、男女共同参画社会について考えていきます。「そういえば…！」と思い当たることばかりです。

## 『女性学・男性学』

伊藤公雄（他）



有斐閣

ジェンダー（社会的・文化的に構成された性）論の視点から、男性・女性であることを、わかりやすい文章で解説した学問的入門書。豊富なデータや過去の研究をおさえつつ、エクササイズやマンガも交え、一緒に考えていく内容になっています。

## 『夫よ！あなたがいちばんストレスです』

村越克子



河出書房新社

タイトルにうなづかれる人も多いのではないでしょうか。実体験に裏打ちされた家庭内ストレス解消法。「ガミガミ母さん型」？「ほんぼう息子型」？夫婦関係をみつめなおし、心理学を交えて解き明かします。

## 『芋たこなんきん』上下

田辺聖子（原案）



講談社

田辺聖子の自伝的小説。NHKの朝の連続テレビ小説をノベライズ化。結婚した相手は、5人の子どもを持つ町医者。家事に育児に執筆活動に忙しの中、持ち前の明るさとパワーで、ハプニングを乗り越えています。支えあう夫婦、家族の大切さが自然に伝わってきます。関西弁も楽しい一冊です。

国連開発計画が発表する国際的な指標に「GEM」と「HDI」があります。

「GEM」とは「ジェンダー・エンパワーメント指数」のことです、女性が経済や政治活動に参加し、意思決定に参加できるかを測るもので、日本は75カ国中42位、先進国の中では非常に低い順位になっています。

一方、「HDI」とは「人間開発指数」のことです、平均寿命、教育水準などを用いて人間の能力がどこまで伸びたかを測るもので、日本は17カ国中7位という高い順位になっています。

下表からわかるように、HDIの順位も高い国はGEMの順位も高い場合がほとんどですが、日本だけが大きく乖離しています。日本は世界第2位の経済大國であり、世界一の長寿国、識字率・就学率も高水準で、平和で豊かな生活のできる国です。しかし、女性が社会の意思決定の場に参画することには遅々として進んでいません。現在の女性の国会議員の割合は衆議院9・4%、参議院14・2%で、総数の1割にな

DHIの順位の高い国はGEMの順位も高い場合がほとんどですが、日本だけが大きく乖離しています。日本は世界第2位の経済大國であり、世界一の長寿国、識字率・就学率も高水準で、平和で豊かな生活のできる国です。しかし、女性が社会の意思決定の場に参画することには遅々として進んでいません。現在の女性の国会議員の割合は衆議院9・4%、参議院14・2%で、総数の1割にな

りました。地方議会では8・8%と1割にも満たない状況です。また、管理職に占める女性の割合は、最近、総務省が行った「労働力調査」によると10・1%と1割を超えたところです。このように日本の現状は女性が社会の意思決定に参画する機会がまだまだ少ないですが、最近では男性が主に負担していた分野へ女性が進出することで社会が活性化すると考えられるようになります。

男性だけでなく女性も責任を分担することで、新たな考え方や気付きのきっかけが見つかるかもしれません。女性だから、男性だからと役割を固定することなく、男女が共に新しい分野でチャンスを生かして活躍することが、より豊かで成熟した社会にならるのではないかでしょうか。

※GEM（ジェンダー・エンパワーメント指数）  
女性が政治や経済活動に参画することによって算出している。

※HDI（人間開発指数）  
「長寿を全うできる健康的な生活」「教育」「人間らしい生活水準」という人間開発の3つの側面を簡略化した指標。平均寿命、教育水準（成年識字率と就学率）などを用いて算出している。



## 子育て世代を支えるには？



近年、少子化がますます深刻化しています。それには、いろんな理由があるようですが、子育て世代は今、なぜ子育てを「しんどい」と考えるのでしょうか？

高度成長期以前の日本では、子どもが小さな弟や妹の世話をしながら隣近所で遊びつつ集団の中で育っていく風景や、親が外出時に子どもを親類や隣近所に預けることは日常的で、地域社会の中で子どもたちは社会性を身につけてきました。

しかし、今は母親が一人で子育てしなければなりません。現在の母親世代にとって子育ては見る機会も少なく、乳児を抱くのは自分の産んだ子どもが初めての経験であることが多いのですが、父親は長時間労働で家にほとんどおらず、隣近所に知り合いや手助けしてくれる人がいなかったりします。その上、頼りたくとも先輩世代とは子育ての方法が違うので、「困っている」との意見があります。

例えば、「ベビーカー」での外出。先輩世代では子どもとの移動はおんぶや抱っこが当たり前だったので、「ベビーカーはマナー違反だし、もっとス

キシングを大切に」という意見もあります。でも子育て世代は「親の日の届かないおんぶでは心配」なのです。

また、食器洗い乾燥機などの購入や、ベビーシッターの一時保育の利用などは、贅沢でも手抜きでもありません。やらなくてもいい家事を見直すなど、家事をシンプルにすることは負担感の軽減につながります。

子育て文化は、この20年で大きく変わったと言われます。「自分の体験が最善」という押し付けは控えたいものですし、「そんなやり方もあるよね」と一概に否定しきれです。

父兄の働き方にも問題があります。我が国の男性労働者は労働時間が長く、子育て世代の20歳代後半から40歳代前半が特に長時間労働になっています。そのため、父親の一日の家事関連

時間は27分、そのうち育児時間はわずか4分です。これでは、父親がしっかりと子どもに向き合う時間は持てません。

子育てにかかることを男女が分かち合えるよう、働き方を見直すことが課題です。

子どもは地域の宝。子育ては未来の町を育てる、みんなが生き生きと暮らせる町をつくることにつながります。明日の町を担う子どもたちが健やかに育つために、地域ができるのか考えてみることも大切ですね。



## 世界から見た日本の男女共同参画

HDI(人間開発指数)			GEM(ジェンダー・エンパワーメント指数)		
順位	国名	HDI値	順位	国名	GEM値
1	ノルウェー	0.965	1	ノルウェー	0.932
2	アイスランド	0.960	2	スウェーデン	0.883
3	オーストラリア	0.957	3	アイスランド	0.866
4	アイルランド	0.956	4	デンマーク	0.861
5	スウェーデン	0.951	5	ベルギー	0.855
6	カナダ	0.950	6	フィンランド	0.853
7	日本	0.949	7	オランダ	0.844
8	米国	0.948	8	オーストラリア	0.833
9	スイス	0.947	9	ドイツ	0.816
10	オランダ	0.947	10	オーストリア	0.815
11	フィンランド	0.947	11	カナダ	0.810
12	ルクセンブルグ	0.945	12	米国	0.808
13	ベルギー	0.945	13	ニュージーランド	0.797
14	オーストリア	0.944	14	スイス	0.797
15	デンマーク	0.943	15	スペイン	0.776
16	フランス	0.942	16	英国	0.755
17	イタリア	0.940	17	アイルランド	0.753
18	英國	0.940	18	シンガポール	0.707
19	スペイン	0.938	19	アルゼンチン	0.697
20	ニュージーランド	0.936	20	ポルトガル	0.681
39	ペルー	0.580			
40	パナマ	0.568			
41	ハンガリー	0.560			
42	日本	0.557			
43	マケドニア	0.554			
44	モルドバ共和国	0.544			
45	フィリピン	0.533			

国連開発計画(UNDP)  
「人間開発報告書」(2006年版)  
より作成。  
測定可能な国数は、  
HDIは177カ国、GEMは75カ国。